

看護職員負担軽減及び処遇の改善計画

		現 状	目 標	対 策
薬局	薬剤師 看護師	薬剤師の病棟定期巡回による、薬剤の配送。 書類の回収。	薬剤師の病棟定期巡回により、薬剤・書類の搬送 (輸液・内服薬)を行う。病棟配置薬の管理業務 を行うことにより、看護師の負担軽減に繋がる。	時間内の内服薬変更・輸液の変更の対応については、 薬局が対応する 病棟配置薬の管理を薬局で対応す る。
リハビリ	理学療法士 作業療法士 看護師	理学療法、作業療法はリハビリ職員が病棟へ の送迎を行う。看護補助者入職時にトランス ファーの研修を行う。	PT・OTの職員が患者様を病室まで送迎する事によ り、看護職員の負担が軽減する。病棟でのトラン スファーなどの動作がスムーズに行える。	理学療法・作業療法への参加誘導を引き続き行う。病 棟でのトランスファーなどのADL動作の指導・相談に 随時応じる。
病棟	看護師 看護補助者	検査出し業務は検査係の看護師が行っている が、レントゲン、胃カメラ等複数の検査が重 なる場合は負担が多い。	検査出しがスムーズ行え、看護師の負担が軽減す る。	看護補助者にストレッチャー、車いすの扱い、患者移 送についての研修を行い看護補助者が移送できる対象 の患者の移送の指導し実施につなげていく。
	看護師 看護補助者	入院患者の高齢化に伴った認知症やその他の 介護業務が増え、看護師の業務の負担が多く なってきた。	看護補助者との協働で認知症患者の対応や介護ケ アの看護師負担を軽減できる。	看護補助者に定期的に行っている勉強会での認知症の 患者さんへの対応またケアについて指導し、看護師と の協働体制作りを行う。
	看護師 医事課	病棟クラークが配置されている事により、事 務的な負担は軽減されている。	病棟クラークが事務業務を担当する事により、看 護師の負担軽減を図る	電話対応・入退院・転入出の準備・書類等の作成・指 示のカーデックス記入・その他の事務業務を、クラ ークが担当する事で、看護業務がスムーズに行える。
臨床検査 外来	臨床検査技師 看護師	R5年5月8日よりコロナの対応が5類に変更。 外来でも発熱患者を受け入れる体制になっ た。	外来業務以外にPPE装着し、検査を行う負担があ り、検査技師の協力を得る体制をとる。	抗原検査は検査技師が行える状況であれば、検査技師 業務として移譲する。
臨床検査	臨床検査技師 看護師	検査結果の報告、異常値の早期連絡を検査技 師が担当する。ベッドサイドでの検査の施行 (12誘導)	検査結果(異常値)の連絡を行ってもらう事によ り、医師への報告がスムーズに行える。 検査の 移動介助の時間が削減する。	検査結果の報告はスムーズに行われている。 移動困難患者の検査をベッドサイドで実施。
レントゲン	放射線技師 看護師	ベッドサイドでの検査の実施 (ポータブル撮影機の使用)	ポータブル撮影機を用いて、病棟内で可能な患者 の撮影を実施し、看護師の負担軽減を図る。	移動困難患者のX-P検査・CVカテーテル確認Ng-T確認 をポータブル撮影機を用いて病棟内撮影を行う。
相談室	相談員 看護師	家族の面会制限を徐々に解除しているため、 家族との対応が増えている。 転院・入院の 調整、退院相談・調整を行う。	各種問い合わせの窓口を、相談室で行い、看護部 との業務分担を行う。	各種問い合わせについては、相談室対応とする。入退 院調整の窓口は相談室で行い、入退院会議で看護部と 調整を行う。